

第64回全国植樹祭式典音楽専門委員会(第4回)議事録

平成24年7月9日(月)

15:00~16:35

西部総合事務所講堂

(凡例)

●…委員発言

○…事務局職員発言

□…オブザーバー発言

○梅田参事

皆さんお揃いになられましたので、ただいまより、第64回全国植樹祭鳥取県実行委員会式典音楽専門委員会の第4回会議を開催いたします。オブザーバーといたしまして乃村工藝社の高井さんと浅野さんに御出席していただいております。

では、議事を始めます前に、全国植樹祭の大北課長から一言挨拶、それから引き続いて、小谷委員長からも御挨拶をお願いいたします。

○大北課長

改めまして、皆さんこんにちは。

●○□全員

こんにちは。

○大北課長

お暑い中、どうもお疲れ様でございます。式典音楽の専門委員会も第4回目でございます。あと、本番まで10ヶ月余りというような事になってまいりました。だんだんと内容が濃くなってきたなあ、ということを実感している次第でございます。

すでに御承知の方もいらっしゃると思いますが、専門委員を務めていただいております県合唱連盟副理事長の池田先生が事故に遭われまして、当分の間、委員会をお休みになられるということになりました。非常に、残念でございます。後ほど自己紹介していただきますが、本日は県合唱連盟から、平井事務局長様を委員として新たに委嘱させていただくことになりました。今回は、鳥取女声合唱団団長の村田理事様に、平井様の代理でお越しいただいております。どうか、よろしくをお願いいたします。

暑いさなかでございますが、皆様のお手元に「トッキーノ」をあしらった長田茶店のペットボトル緑茶「大山みどり」を配らせていただいておりますので、皆さまにおかれましても、どうかいろいろとPRにお使いいただければ、と思っておるところでございます。委員の先生方には、今後ともお力添えをお願いしたいと思っております。

また、事務局の坪倉が今、全国植樹祭のポスターを持ってありますが、こちらが出来上がりました。県内各文化施設にはお配りしておりますが、各団体の方で御活用いただければありがたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

●小谷委員長

皆さん、御苦労様です。大北課長の挨拶にもありましたが、池田先生が大変な事故という事で残念に思っております。

本日の議事に関してですが、先般、特に吹奏楽の練習会場等々を見て回って、事務局の方で押さえていただいたということがあります。吹奏楽連盟としてはコンクールまでは、一生懸命コンクールに向かっていただいて、それが終わってから式典の練習に入るという構想でございますので、そのことを念頭に置きながら進めていきたいと思っております。

それから、合唱につきましては、これからの取り組みですけれども、精力的にメンバー等々を決めていかなければいけないと思っております。

もう7月に入りました。本番まであと10ヶ月というところまで来ておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

○梅田参事

ありがとうございます。では、議事に入ります前に、本日は先ほど御紹介がありましたように、鳥取県合唱連盟の村田理事様に御出席いただいておりますので、事務局から改めて経過を御説明いたします。

○坪倉主事

先ほど、課長挨拶にもありましたとおり、去る6月24日、専門委員の池田明弘鳥取県合唱連盟副理事長様が、鳥取市内で交通事故に遭われ、重傷を負われました。

事務局において関係先と対応協議をいたしまして、池田先生には当面委員の職をお休みいただくこととしまして、合唱連盟から、7月3日付けで平井静子事務局長様に新たに専門委員として当委員会に入っていただくこととしました。本日は、平井事務局長様が所用のために欠席されておりますので、理事の村田真弓様に代理として御出席をいただいております。以上でございます。

○梅田参事

村田理事様、本日の協議宜しくお願ひいたします。

それでは、議事に入ります。全国植樹祭鳥取県実行委員会、会則第12条第5項の規定によりまして、本専門委員会の議長は、小谷委員長に務めていただきます。よろしくお願ひいたします。

●小谷委員長

では、次第にありますように、式典音楽の楽曲について、事務局から提案、御説明をお願ひします。

○坪倉主事

はい。それでは、お手元の資料1を御覧ください。「第64回全国植樹祭とっとり2013式典音楽の選曲について(中間案)」という紙ですが、これは、前回御討議いただきまして、あらかた、この場面ではこのような曲を使うということを出していただきましたので、それを紙にしたものでございます。

説明に入ります前に、これに関して、事務局から3点ほどお願ひないし提案がありますので、そのことも含めながら御説明をしていきたいと思っております。まず、プロローグについては、イントロダクションのところはCDですとか、自然の音を採る採音を検討しているところでございます。

●新倉専門委員

今、採音って言われましたかね。もう一回、説明をお願ひします。

○坪倉主事

採音とは、波の音などをサンプリングするものです。採譜とは違いまして、録音した自然の音を素材として使うものです。

●新倉専門委員

わかりました。

○坪倉主事

プロローグのアトラクション、こちらは、のちほどまた資料で説明いたしますが、創作劇を想定しております。この創作劇では、採譜による楽曲を何らかの方法で演奏することとしております。創作劇パートについては、「鳥の劇場」が担当されるということで、編曲は「鳥の劇場」の音楽を常々手がけていらっしゃる、武中淳彦（たけなか あつひこ）先生のお名前を、ここにあげております。

感謝状贈呈につきましては、「春の小川」、「朧月夜」のメドレー、こちらは、時間が 5 分程度になりますので、メドレーということになります。備考欄には、もしこの 2 曲をメドレーでつなぐとすると、新倉先生の個人名が出ていて恐縮ですが、先生にメドレーのアレンジをしていただくということが必要になってくると思います。

記念切手贈呈につきましては、いわゆる新童謡の「コスモスの花」、記念式典の案内の時間は、楽団はお休みとなりまして、LAP タイムに書いておりますように、音楽がないシーンを含めると、プロローグは 41 分間という、今のところの想定です。

記念式典に入りますと、両陛下の御着がまず、わかとり国体ファンファーレの 1、それに引き続いて県民歌「わきあがる力」を演奏、という想定です。

開会の言葉につきましては、開会の言葉が終わりました後に国体のファンファーレの 2 つ目の曲を演奏します。

三旗掲揚・国歌斉唱につきましては、これは例年どおりの「君が代」でございます。

主催者挨拶は、音楽はありません。

その次の緑化功労者等の表彰につきましては、いきものがかりの「ありがとう」を弦楽バージョンでということで、こちらは既存の楽譜はピアノの合唱用ですとか、弦楽四重奏用しか、今のところ確認出できておりませんので、弦楽用アレンジの必要があるということになっております。

苗木の贈呈につきましては、「春のシャンソン」を吹奏楽と合唱で演奏します。

お手植え・お手播き、代表植樹につきましては、全体の討議では採譜による楽曲と決定しました。

大会テーマ表現につきましては、採譜による楽曲を演奏します。

大会宣言が終わった後のファンファーレにつきましては、わかとり国体の 3 つ目のファンファーレを演奏します。

リレーセレモニーにつきましては、次回開催県の新潟県から送られてきます CD を使う予定ですので、楽団はお休みとなります。

閉会の言葉の終了後のファンファーレにつきましても、わかとり国体の 4 曲目を演奏します。

両陛下御発が、「ふるさと」の演奏です。

以上の記念式典のトータルタイムが、47 分間という想定です。

エピローグにつきましては、今、内容をまだ検討中でございます、したがって楽曲も今のところは具体的な内容が出ていないというところで、こちらはトータルタイムが 21 分と、このような中間案となっております。

さて、冒頭に申し上げましたとおり、3 点ほどお願いしたいしは提案がございまして、まずお願いがひとつ。ファンファーレにつきましては、前回の会議で、音源の取り間違い等ありまして、国体とインターハイ両方をお聞きいただく予定だったのですが、片方しかお聞きいただけていないため、本日改めて CD を持ってまいりましたので、再度確認をいただきたいということが 1 点目でございます。

それから、提案が 2 つございます。まず、お手植え・お手播き、代表植樹の曲について、今のところ、採譜による楽曲と決定しているところですが、最下欄の「選曲方針」に書いていますように、「郷土の生んだ作曲家」の作品を中心に「童謡・唱歌のふるさと鳥取県」を表現したいということがあります。特に NHK の全国放送にも映りますので、記念式典の中で、もう少しこの「童謡・唱歌のふるさと」という色合いがよく出た方がよいのではないかと思います。たとえばここを、別の童謡・唱歌を使ったものに変える、というようなことができないか、事務局から御提案をさせていただきたいと思っております。

提案の 2 点目ですが、両陛下御発の曲を「ふるさと」としてありますが、こちらを、今検討中のエピローグアトラクションにおいて、会場内の一体感を高める演出が必要になってきますので、その中で、誰もが歌詞を知っていて、郷愁をかき立てる曲である「ふるさと」を使うということがあってよいのではないかと思います。ただし、前回「ふるさと」が両陛下の御発にふさわしい曲だということで、決定いただいた経緯がありますので、「ふるさと」をエピローグに移動して両陛下御発を違う曲にするのがよいのか、あるいは両方とも「ふるさと」でも差し支えないということなのか、御意見が分かれるところかと思っておりますので、改めて委員の先生方の御意見を伺いたく思います。以上です。

●小谷委員長

ありがとうございます。それでは、3 点ほどありましたが、まず 1 点目、ファンファーレをもう一回聞いてみようということですので、[音楽] 再生していただけますか？

○坪倉主事

まず、インターハイのファンファーレが先にかかり、4 曲あります。その後、わかとり国体 4 曲です。では、再生します。

(※インターハイ及びわかとり国体のファンファーレを再生)

●小谷委員長

いかがでしょうか？ちなみに、国体ファンファーレの 1 曲目は 23 秒です。それから、2 曲目は 27 秒、3 曲目は 19 秒、4 曲目は 21 秒でした。インターハイについては、1 曲目は 24 秒、2 曲目は 22 秒、3 曲目は 20 秒、4 曲目は 29 秒です。

どうでしょうか？今日は初めて総体の音源を聞いたわけですが、前回国体ファンファーレでいこうということを決めたのですが、それでもよろしいですか？変えますか？

●新倉専門委員

個人的な意見では、インターハイの 4 曲目はファンファーレらしいファンファーレなのだけれども、ちょっと長すぎる。前回決定のとおり、国体の方いいように思いますが。ファンファーレらしく、スカッとしているなあ、という感じです。個人的にはそうです。

●小谷委員長

他の委員さんどうでしょうか？

●井上専門委員

何回か聞いて見て、国体の4曲でまったく問題ないかなあと思いました。インターハイの1曲目と3曲目も格好良くてなかなか捨てがたいので、もしインターハイを取り入れるとしたら国体の2、3曲目をインターハイの1曲目、3曲目あたりに変えてもよいか、と思いましたが、国体のままでも全然問題ないと思いました。

●竹田副委員長

僕は、インターハイの1、2曲が個人的にはいいかな。僕の好みです、完璧に。(笑)

●小谷委員長

皆さんどうでしょうか？そのままいきますか？

●井上専門委員

国体のファンファーレの2曲目の、ホルンだけになる部分、音量的に谷間になって聞こえにくくなる部分があって、聞いていて、ちょっとドキッとするのはすけれども、あれは大丈夫なのでしょうか。演奏次第なのではないでしょうか。

●小谷委員長

大丈夫だと思いますよ。

●井上専門委員

問題なければ、このままでよいかと思います。

●竹田副委員長

大丈夫です。全部重なっていますから。

●小谷委員長

1回決めましたし、このままでいきましょう。国体のファンファーレ4曲でいく、ということをお願いします。

そうすると、次は2つ目のお手植えのところの曲についてです。原案では採譜ということだったのですが、選曲方針の「童謡・唱歌のふるさと鳥取県」をイメージするのに肝心の童謡・唱歌があまりに少ないではないかなということから、童謡・唱歌を取り入れたらどうだろうかということです。

具体的にどのような曲が候補に挙がっているかについて、事務局から説明してください。

○坪倉主事

具体的な曲ですが、まず鳥取県吹奏楽部連盟が国体で使った「童謡メドレー」、それから、鳥取県合唱連盟からは国民文化祭の時に歌われた管弦楽用の曲、「合唱幻想曲ふるさと」、この2曲が挙がっています。

●小谷委員長

吹奏楽連盟のメドレーに含まれている、具体的な曲名は何でしたっけ？

○坪倉主事

具体的な曲名は…。(資料を調べる)

●小谷委員長

私のメモですが、「大黒さま」と、「花咲爺」に「一寸法師」、「金太郎」それから、「もみじ」でしたね。グランドマーチはどうでしたっけ。あと、貝殻節。私が手元になぐり書きした

のをまとめてないでしょうか。

○坪倉主事

失礼しました。童謡メドレーが、「金太郎」、「一寸法師」、「大黒さま」、「花咲翁」。それから、「もみじ」、「人工衛星の歌」それから、「グランドマーチ」ですね。

●小谷専門委員

これらの曲は、ブラスバンド用の既存楽譜があるのですが、もともとメドレーになっている「童謡メドレー」以外の曲は、メドレーにはなっていないわけです。したがって、メドレーにするためには、つないでもらわなくてはならない。「童謡メドレー」、「もみじ」、「人工衛星のうた」、「グランドマーチ」の4曲を、4小節くらいでつないでもらうフレーズを編曲者に考えてもらえば、つながるということです。11分が賄えるのではないかと思います。

●新倉専門委員

以前福井県のビデオを見たけれど、歌詞は入っていましたっけ？

○坪倉主事

福井県の場合、ボリュームは抑えていましたが、歌詞は入っていました。

●新倉専門委員

要するにお手植えとかお手播きのその、言葉（アナウンス）が何か入るわけでしょう？

○坪倉主事

そうですね。アナウンスが入ります。

●新倉専門委員

そこは、言葉と言葉がダブらない方がいいのかな。ボリューム調整でいけるのだろうか。

○坪倉主事

ボリューム調整でいけると思います。

●小谷委員長

そこは、楽譜があるので、その調整が上手くいくように、順番も新倉先生にお願いするということで。(笑)

●新倉専門委員

ひとつは、メドレーが、歌うのに適したちょうどいい調になっているかということが編曲の前提としてあるのですが、いかがでしょうか？

●竹田副委員長

ちょうどよい調になっています。藤田玄播（ふじた げんぱ）先生は、ちゃんとそのことも考えて編曲されていますので。

●小谷委員長

国体でも歌わせましたし。

●新倉専門委員

じゃあ、そのままいけるといことですか。素晴らしいですね。

○濱本補佐

小谷先生、もうひとつの、合唱連盟の候補曲について、私から説明します。先日平井先生のところに委員の依頼に伺ったときにお聞きしたのですが、この曲は、2002年国民文化祭合唱祭で歌われた、佐藤 眞（さとう しん）先生編曲の「合唱幻想曲ふるさと」という曲だということでした。混声合唱、管弦楽の曲です。「ふるさと」、「もみじ」、「大黒様」、「春

の小川」、「朧月夜」、「金太郎」の各曲を要素として構成されています。

●小谷委員長

オーケストラの総譜がありますので、皆さんで回し読みしてください。

この曲「合唱幻想曲ふるさと」は、国民文化祭のときに合唱連盟の団員がみんな歌っているので取り組みやすい、ということがあるそうです。ただ、先ほどから言うように、オーケストラを吹奏楽にアレンジしなければならないと思います。

まずは、原案の採譜による楽曲を、鳥取県らしさを出すということで童謡に変えたい、という趣旨はよろしいですか？とりあえず、その方向で考えるとして、吹奏楽連盟の「童謡メドレー」等のほうは曲をつなげる必要がある。合唱連盟の「合唱幻想曲ふるさと」は、たぶんオーケストラでは演奏出来ないの、吹奏楽用にアレンジをし直さなくてはならないという課題があります。

また、曲中に「ふるさと」が含まれているために、この曲を使うと、「ふるさと」を3回演奏することになってしまいます。事務局から提示の3番目の問題にもなっていますが、御発の時に「ふるさと」を演奏する、エピローグでも、「ふるさと」を演奏する、その上ここでも「ふるさと」を演奏するというのは、いくら演奏場面が違ってもしつこいと思われることが懸念されます。

●新倉専門委員

この2曲、「童謡メドレー」と「合唱幻想曲ふるさと」の音はないのでしょうか。

●小谷委員長

音源は、今手元にはないですね。

●井上専門委員

私は、「合唱幻想曲ふるさと」の音源は持っています。DVDですが。

●新倉専門委員

野外でやるとなると、吹奏楽アレンジのほうがシンプルでいいかもしれないですね。

簡単に歌えるような合唱曲で、キーが合っているといいかなと思います。たとえば、曲の切れ目で、「もみじ」の前に少し弦楽が入ったほうがよければ弦楽が入って、「もみじ」が続くような構成で、というようなことが考えられます。

でも、これはお手植えのときの曲だから、BGMでしょう？

●小谷委員長

ここで何か歌、合唱をつけると言っても、合唱でなくても斉唱でいいと思います。

●新倉専門委員

とくに童謡は、斉唱がいいですね。

●小谷委員長

どうでしょうか？

●新倉専門委員

「合唱幻想曲ふるさと」でないほうが、私としては賛成ですけど。

●小谷委員長

じゃあ、吹奏楽用に編曲してあるものをつなぐということではいけませんか。吹奏楽連盟の「童謡メドレー」等の既存の楽譜を使いながら、つないでいただくということにしたいです。

●竹田専門委員

そのときに、新倉先生が先ほど、たとえば吹奏楽の「童謡メドレー等」の楽譜があるから野外でもやりましょう、たとえば「もみじ」であれば途中で弦楽、合唱を入れてもよいですねと、ちらっとおっしゃったので、それをこの中に含むのか含まないのか、ということをお話したいです。

●新倉専門委員

弦楽と合唱が入り込んでいくか、あるいは、ここは吹奏楽と合唱だけでいくか、ということですね。

●本田専門委員

弦楽が、吹奏楽や合唱と合同練習しなくてはならないという問題ともありますね。

●小谷委員長

それはありますね。

●新倉先生

たしかに、それはたいへんですね。(笑)

●小谷委員長

では、吹奏楽でいきましょう。吹奏楽バージョンで“合唱”、と言うよりも、“歌”をつけるということで行きたいと思います。

3点目ですが、御発の「ふるさと」を別の曲の使用を含めて再検討する件についてです。

事務局提案の意図は、エピローグで「ふるさと」を演奏したいということ。出演者、観客のすべてが「ふるさと」だったら歌えるのではないかと、というイメージで、事務局としてはそれをやりたいという気持ちがある。そのときに、御発で「ふるさと」を演奏し、エピローグでも「ふるさと」を演奏するというのはさすがにしつこいのではないかと心配しているわけです。

しかしたとえば、陛下お発ちの時間は僅か3分間ですので、そこからエピローグの演技があって、最後に「ふるさと」の歌で締めるのであれば、そんなにしつこくないのではないかと、私は思うのですが、皆さんの意見をお伺いします。

●本田専門委員

「ふるさと」は、時と場合をわきまえて演奏すれば、ものすごく感動します。いちばん最後まで取っておきたいような気持ちでいます。

また、何度も歌うという使い方ではなくて、感動を呼び覚ますという使い方がよいと思います。

●新倉専門委員

エピローグのアトラクションの演出内容(案)というのが、よくわからないのですが。

●小谷委員長

では、先に説明してもらいましょうか。議事次第とは順序が違いますが、配付資料のいちばん最後(資料5)について、事務局から説明してください。

○濱本補佐

資料5を御覧ください。全国植樹祭の式典は、三部構成をとることとしておりまして、全体が「プロローグ」、「記念式典」、「エピローグ」の3つに分かれております。

記念式典というのは、両陛下の御着から御発までで、ここはだいたい各県共通で内容が

決まっているところでして、先催県と同様のプログラムを想定し、曲を決めていただいたところですよ。

プロローグでは、今回鳥取県では「森・川・海のつながり」をパフォーマンスで表現するというので、そのパフォーマンスのイメージとして現在、傘踊りなどの絵が描かれているところですよ。みどりの少年団の子どもたちに参加していただくパフォーマンス、そして、創作劇を考えています。ここまでがプロローグですよ。

次に、記念式典については、両陛下御到着の後、開会宣言や表彰などを行う、そのような部分ですよ。大会テーマの表現については、全国植樹祭で整備する、とっとり花回廊の4つの森を表現するイメージで、舞踊を取り入れて表現したく思っています。

最後にエピローグですが、両陛下が出発された後、最後に会場全体の一体感を創出して、また、鳥取県には、ゆるキャラがたくさんいますので、そうしたゆるキャラたちにも出演してもらい、最後は、資料に、大空に羽ばたこう、舞い上がろうと書いておりますけれども、出演者全員でともに「ふるさと」を歌ってフィナーレを迎える、というような演出にしたいと思っています。

ここで「ふるさと」を使いたいため、両陛下御発のところの「ふるさと」と、それから、エピローグの「ふるさと」とが2つ重なってしまいます。そこで、御発のところを変える必要があるか、または、同じ「ふるさと」を2回にしてしつこくはないだろうかと思ひ、委員の先生方に改めてお諮りしたいということですよ。

●小谷委員長

まだ、このプロローグ、エピローグについては、検討の段階で決定ではなく、構想の段階ということですよ。そこで、「ふるさと」を2回演奏してもよいのか、あるいは、本田委員がおっしゃったとおり、感動は1度だけにしたほうがよいのか、ということもあります。

そのあたりの皆さんの御意見を伺って、2回でもよければそのままであるし、1回で、ということであれば、そこを何か別の曲に変更しなくてはならないということになります。

●新倉専門委員

御発の音楽は、今までの会議の資料で先催県の例を見る限り、比較的穏やかな曲が多用されていますよね。

御発のところは弦楽器だけで「ふるさと」を演奏し、最後はみんなが華やかに歌うとよいのではないのでしょうか。御発は、しつとりと弦楽器だけでもよいような気がしますがけれども。「ふるさと」のメロディーだけが演奏され、会場内の皆さんが、陛下に注目される中で、お送りされる。私はそれがよいと思います。

それから、お聞きしたいのですが、プロローグの演出は鳥の劇場の中島さんが担当されるんですよ。エピローグはどうでしょうか。

○濱本補佐

エピローグは違います。

●新倉専門委員

わかりました。資料に書いてなかったものですから、お尋ねしました。

●小谷委員長

どうでしょうか？歌詞なし、歌なしの弦楽バージョンでやるという方法もあるということですよ。

●新倉専門委員

あるいはハミングでもよいのですが、歌わないほうがよいと思います。

●井上専門委員

そうですね。

●竹田副委員長

僕は、新倉先生の言われたとおりで OK です。

●井上専門委員

他県では「G 線上のアリア」もありましたですね。

●新倉専門委員

「G 線上のアリア」は、入場のイメージなんですよ。去っていくイメージではない。

でも、せっかくだったら僕は、「ふるさと」のメロディーを聴かせておいて、エピローグでワーンとみんなで歌を歌うみたいなほうが、アピールにはなると思いますよ。「パッヘルベルのカノン」とかであれば、どこでもやることですから。

●小谷委員長

せっかく弦も使いますので、1 回だけの出番ではもったいないということもありますし、「ふるさと」を弦バージョンで、ハミングはなしの弦のみで、ということにしましょうか。ただ、時間を 3 分に引き延ばしてもらわないといけません。

●竹田副委員長

ただ、ずっと、エンドレスになりますよ。あくまでも BGM ですから。

●小谷委員長

それでは、「ふるさと」を御発で焼き付けておいて、エピローグではみんなで歌っていく、ということで構成していくこととしてよろしいでしょうか。では、そのようにしたいと思います。みなさん、それでよろしいでしょうか。

●新倉専門委員

ちょっと、よろしいでしょうか。これは、後の議事に出てくるかもしれませんが、記念式典の大会テーマ表現について、先ほど事務局がおっしゃったのは、ダンスが入ることでした。そうすると、弦だけで大丈夫だろうかということがあります。ダンスで盛り上げるのだったら、吹奏楽が入ったほうがよい。しっとり穏やかな感じだけなら弦だけでもよいのですけれど。

テーマ表現の中に、この絵にあるような活動的なイメージがあるようならば、弦だけで音楽をやるのはちょっとたいへんではないかと思いました。

○近藤補佐

大会テーマ表現は、今のイメージでは、メッセージが主導で、そこにアトラクションが入ってくるという組立てを考えています。

●新倉専門委員

つまり、言葉をどなたかが読んで、そのバックミュージックになるということですね。それなら、弦でもよいかもしれないですね。パフォーマンスで踊っている絵がありますから、こういうのをやるけれども、そこでは、言葉が中心になるということですか。わかりました。

●小谷委員長

弦の音楽の動きに合わせて、この人たちは動くのですか？

□乃村工藝社 浅野ディレクター

合わせなくてはならないです。メッセージがあって、その BGM に弦、という組合せですから。おっしゃるとおり、吹奏楽と合唱の組合せも考えたのですが、メッセージを表現する音楽でもありますので。検証してみなくてはならないですけども、ベースは、メッセージがあって、メッセージだけでは演出上不十分なので、そのバックにアトラクションを入れるということです。

●小谷委員長

出来た音楽に合わせて動きをする、逆に言うとそういうことでしょうかね。リズムなどは合わせなければならないと思いますが、どうなのでしょうね。ちょっと、イメージがわからないですね。

●新倉専門委員

今、小谷先生がおっしゃるのは、たとえばタンゴなら、ジャズ、ジャズ、ジャズ、ジャズというぐあいに合わせるのですが、そこをどうするかということですよね。リズムとメリハリで合わせる音楽であれば、弦だけではきついと思いますし。たとえばモダンダンスなどでは、自分たちで流れを考えて振り付けしていますよね。バックの音楽とは違うリズムの流れで。それだと、メッセージを中心に、弦でもいけるかもしれない、弦を中心にするということ。だからこれは、今、弦と決めてしまわないで、もう少し詰まったときに編成を決めないと、きついかもしれない。

●小谷委員長

でも、音楽を作らないといけませんからね。今まで話してきたように、弦でアレンジしていただいて、その出来上がりを乃村工藝社さんが上手く利用されて、パフォーマンスも考えてもらうということでもいいですね。では、そういう方向で行くということでしょうか。

●新倉専門委員

もしかして、これは弦で録音しておいたほうが安全なのかもしれないですね。踊りに、CD で録っておいた曲をかぶせるほうが簡単なように思います。しかしいずれにしろ、弦でやるということで結構です。

●小谷委員長

そうしますと、楽曲については、ほぼ決定したのではと思います。次に協議事項の 2、音楽隊の編成についてお願いします。

○坪倉主事

資料 2、「高等学校及び中学校吹奏楽部の楽器別部員数について（7.1 現在）」を御覧ください。

まず、表の見方ですが、表の左半分は、高等学校の部員数を記載しています。米子東、米子西、米子南、米子、米子北の順です。来年の春に引退しない学年のパート別人数を採用しております。この高校生の小計が 109 人です。

表の中央より右側が中学生です。南部町の法勝寺中学校、南部中学校、それから伯耆町の岸本中学校、溝口中学校、江府中学校の、全国植樹祭開催地の 3 町、5 校の中学校のパー

卜別の人数を出しております。「何々中 2」と書いてございますが、2 というのは、中学校については、技術レベルを考慮し 2 年生を対象とするという意味合いです。中学生は小計 33 人です。

高校生、中学生をトータルいたしますと 142 人、米子西高校の現 2 年生、すなわち来年の新 3 年生は退部するかあるいは継続するかを進級時に選択しますので、その 142 人に含まれません。米子西高校の現 2 年生、来年になると 3 年生になるメンバーは現在 22 人ですが、米子西高校さんにお伺いしたところ、例年数名のだけしか残られないということでございますので、事務局としては、合計 150 人まではいかないだろうと目算しているところ

です。
以上を前提に吹奏楽団を結成することとして、各学校への依頼を進めていきたいと思います。以上です。

●小谷委員長

7 月現在でそのような数字になるということです。当初 120 人くらいでは、という想定できたのですが、途中、開催町の中学校も入れるべきなのではないかということで、33 人が増えました。この結果、トータル 142 人、これに、米子西高の 2 年生が 3 年生になったときに残る数という規模になります。私が現役で米子西高の顧問をしていたときは残って 2、3 人くらい、今年状況を聞きましたら 1 名しか残っていないということなので、おそらく先ほどもありましたように、残って 5 名弱ではないかなという推測をしております。いずれにしても、22 名の半分程度が上限で、それ以上残ることはないのではないかと思っております。

したがって、142 人ないし 150 人あたりまで規模が膨らみますけれども、各学校では、部員に対して「お前は出て、お前はいけない」というような選別をされることはないと思っておりますので、これでいくしかないと思っておりますが、よろしいでしょうか。音楽隊席の収容人数が増えますけれどもいいですか。

○坪倉主事

音楽隊席の座席数については、なんとか調整が図れる範囲であると認識しております。

●小谷委員長

そうしますと、御存知のように鳥取大会では、音楽隊席に屋根を付けるということなので、席に限りがあるのですけれども、なんとか、当初の想定人数より増えても、収まるであろう目安が立つようですので、これでいかせていただくということで、お願いしたいと思います。

○濱本補佐

二、三よろしいでしょうか？上から 4 行目の楽器が空欄で、なしですけれども大丈夫でしょうか。

●小谷委員長

大丈夫です。

○濱本補佐

もう一つ、パーカッションとはいわゆる太鼓だと思っておりますが、太鼓のことはわかりませんが、人数は大丈夫でしょうか。人数が多いので、多分、場所を取ると思いますが、そのあたりは。

●小谷委員長

曲によって振り分けてもよいわけなので、パーカッションについては、山口県の例を見ても、大太鼓は2つ、ティンパニは1つという具合にして、頭数の楽器を全部使うわけではありませんので、大丈夫です。楽器編成については、なかなか、「何に回れ」というようなことにはなりませんので、そこはパーカッションをやる子の意志を尊重してやるということできたく思います。

編成については、この表にあるとおりできたく思います。もうすでに何名かりタイヤしたという情報も入ってきておりますので、多少減る可能性はあります。たぶん、増えることはないと思いますけれども、減る可能性はあるでしょう。

それでは、3つ目の議題、音楽隊の、特に本日の提案は吹奏楽団になりますが、練習計画についてお願いします。

○坪倉主事

資料3「第64回全国植樹祭式典音楽隊（吹奏楽）合同練習日程調整状況」を御覧ください。先日小谷先生、竹田先生に御意見いただきまして、吹奏楽については合同練習、式典リハーサル、総合リハーサル、前日リハーサルと、ここに至るまでの合同練習ということになりますが、吹奏楽単独で11月頃から、まず2回程度合同練習を実施する必要があります。それから、合唱と吹奏楽合同で、年が明けて1月頃、必要に応じて3月頃にもう一回やると、3回ないし4回の合同練習を要します。

練習会場につきましては、賃借料等にもよりますが、体育館等の空き状況を調べましたところ、その想定していた日程よりも早い時期に、どらドラパーク米子市民体育館、または、米子市立淀江体育館空き日程があると、今のところ確認出来ているところです。こちら米子市教育委員会に対して仮予約しております。

備考欄に書いているのが、練習候補日の前後の各学校の行事などの情報です。定期考査がある、あるいは大学入試センターがあり学校が多忙な時期であるというような情報です。

3月ですと、卒業式や入試、終業式が行われるという参考情報ですが、こうしたことも勘案しながら、ようやく会場の空き状況が確認出来ているところで終わっているという状況です。

今後、関係先と調整を図りまして3回ないし4回という、吹奏楽単独、あるいは合唱団との合同練習を調整させていただきたく考えているところです。以上でございます。

●小谷委員長

備考のところの学校行事については、中間テスト等は、たぶん普通科は同じ各校同時期だろうと思われるので、ひとまず米東と、職業課程のある米南について調べていただいたということです。だいたいこのような具合でよろしいでしょうか。

●竹田副委員長

米子北高校の中間考査は、9月の終わり頃から、10月の終わり頃までです。

●小谷委員長

だいたい、このような日程でひとまず、会場を押さえていただいておりますので、日にちが近づいてきたら、詳細日程を決めていくことでよろしいでしょうか。

●竹田副委員長

ちょっと質問してよろしいでしょうか。今回のように、国の行事を鳥取県が行う場合で、

鳥取県の施設を借りられる時にも、お金が必要なんですか。

●小谷委員長

聞いたところによると、教育関係期間が借りるときには減免で、教育関係でない部署が借りるときには減免は適用されないという原則ですね。

○坪倉主事

体育館を使用するというので、運動以外の目的で使用する際は個別で使用許可をいただくことになります。

●竹田副委員長

たとえば、県立武道館はだめなのですか。

○坪倉主事

米子市の弓ヶ浜公園にある武道館のことですか。

●竹田副委員長

そうです。

○坪倉主事

県立武道館につきましては、住宅が近くにあるため、音楽関係の使用についてはお断りしていますとおっしゃっています。

●竹田副委員長

吹奏楽連盟は許可をもらっていますよ。単独で練習する場合と、今度マーチングコンテスト県大会を行うのですが、それも武道館でやります。

と言いますのも、1月は体育館がとても寒いので。9月、11月はまだ我慢できますが、1月の体育館はちょっと子どもがかわいそうです。大人は厚着をして外でずっと見ておけばいいのですが、この日だけでもなんとかならないでしょうかね。

●小谷委員長

淀江体育館は暖房があります。

●竹田副委員長

はい、わかりました。(笑)

●小谷委員長

事務局から武道館へ、もう一回確認して下さい。あそこ空調は効くんですね。

●竹田副委員長

やぶ蛇になってもいけないんですが、もう一度、聞いていただけたら嬉しいです。

○坪倉主事

わかりました。

●竹田副委員長

去年の11月は200人くらいで演奏会を行いました。去年の11月には中学生さん、石川県と鳥取県の中学生200人くらいが集まって合同演奏会をそこで行ったんです。実績はあるので、上手にお願いします。以上です。

●小谷委員長

もし、そうであれば会場が変わるかも知れませんが、一応、3回ないし4回、特に1月に入ってから合唱との合同でということになりますので、そのように、お願いをしたいと思います。具体的なことにつきましてはまた、もう少し先に、実際に出演校と協議をお願い

いしたいと思います。

合唱連盟さんの方はこれとはまた、別日程を考えられないといけないと思いますが、今、メンバー募集をされているんですよね。

●合唱連盟 村田理事

一週間前に、連盟から文書を出し、募集をいたしました。締め切りは10日だったかと思えます。日にちはないですけど、募集は出してあります。たぶん、若干遅れて回答がくると思えます。連盟の事務所に送られてくるようになっております。

●小谷委員長

吹奏楽がほしい140人程度になりましたので、当初は120人という言い方でしたけれども。明日締め切りされるわけですね。それを受けて、人数を確保するというので、少なれば合唱連盟が責任を持って人集めをしていただくということでもよろしいでしょうか。

●合唱連盟 村田理事

多分、西部の方は高校生と思われま。一般は、米子市の連盟がありますので、そこが協力してくれるかどうかということがあります。連盟に入っているのは、境港の沙羅、米子のコロネット・コール、富有の里コーラス、ここは女声だけで、男声はありません。混声となれば、鳥大生の助けが必要になってくるかなと思っているのですが、鳥大生はどうかということですね。ただ、男声は連盟に入っていないので。

ところで、「第九合唱団」はいかがでしょう。

●新倉専門委員

「第九合唱団」は、少ないですよ。

●合唱連盟 村田理事

そうなんですか。言われてみると、こちらから応援に行きますものね。

●小谷委員長

子どもも必要だし、混声も必要ですので、なんとかそのあたりを西部合唱連盟という別の組織もありますよね。あそこも話をされて、調整してみてください。

●合唱連盟 村田理事

会長さんは、木下さんでしたでしょうか。

●小谷委員長

会長は木下さんだと思う。事務局が、石谷さんだと思う。次回にでも、状況が報告できるようにお願いします。

そうしますと、今日の協議事項はほしい以上のようなところですね。資料5も済みましたね。もうひとつありますね、資料4の採譜について、事務局から説明をお願いします。

○坪倉主事

資料4でございますが、採譜の到着状況につきまして、前回お聞きいただいたのは4曲でございますが、あと3曲メロディーができて、お手元に配布しています、「山のいのち2」、「木のいのち2」、「草花のいのち2」この3曲の完成によって採譜のメロディーを終了したということでございまして、残り4曲につきましては、既に楽譜を配布したところがございますので、今回は、CDに全7曲をまとめておりますので、それをお聴きいただきたく思います。まずは、最初の「山のいのち2」を再生します。

※音楽再生(「山のいのち2」から順番に再生)

それから、資料 5 については先ほど説明いたしました、演出のことにつきまして検討いただく委員の方に、追加で入っていただく予定であります。

ちなみに、演出等を検討いただく委員の候補者ですけれども、例えば演出面ですと鳥取県文化振興財団のとりアート推進課長・西部事務所長の村上隆明さん、あるいは、演出のストーリー性を見ていただくという面では、鳥取県の歴史や文化に造形をお持ちの方ですけれども今井書店グループ会長の永井伸和様。2名から3名と考えておりますので、そのほか、パフォーマンスにダンスがかなり入ってくるような案に入ってきていますので、鳥取県洋舞連盟等の関係者の方に御意見をいただくような段取りで進めるよう考えております。

●小谷委員長

前回は名前があたりしましたけれども、そういう形で 2、3 名追加をするということ、ここで良い悪いということにはならないと思いますので、進めていただけたらということになろうかと思えます。

●新倉専門委員

その方たちが何をされるのでしょうか。どういう役割で入ってくるのか？

○坪倉主事

演出面、パフォーマンス等につきまして、専門的立場から御意見をいただくようになります。あるいはプロローグからエピローグまでの全体の演出等において、鳥取県らしさが表現できているかということについて、見ていただくという役割を想定しています。

○濱本補佐

追加される委員自身が、演出をされるという事ではないわけです。

●新倉専門委員

演出は、そちらでしっかりやってください。みんなの意見をいろいろと寄せ集めてみると、何をやっているかわからなくなるということが起こりがちですから。

●小谷委員長

よろしいでしょうか。それでは、次回から委員を追加するということでよろしく申し上げます。ちょっと複雑な面もありますけれども、全体の流れを見ていただくという面から、御参加いただけるということで、御了解ください。その他、事務局の方で何かありますか。ないようであれば、今日の議題は全部終わります。

○坪倉主事

(次回日程調整) →では、7月26日(木)午前10時からということで。

●小谷委員長

今回はどんな議題を想定していますか。

○濱本補佐

合唱メンバーのことについては、できれば合唱連盟へ事前に御相談させていただいて、練習の会場や、やり方について会議の場で調整するというのではなくて、個別に調整させていただくということでお願いします。弦楽についても、練習のことについてはオーケストラ連盟に個別に話をさせていただきたく思います。

●小谷委員長

では、今回は 7月26日の午前中(10時から)。西部で開催ということでお願いします。議長からは以上です。

○梅田参事

熱心に御討議いただきありがとうございました。以上をもちまして、第4回の式典音楽専門委員会を終了いたします。

○●□全員

ありがとうございました。